

アフリカから BONJOUR !



皆さん、Comment allez-vous? (コメントレブ、お元気ですか?)

青年海外協力隊の柔道隊員、金盛友彦です!

日本での連休いかがお過ごしでしょうか。

先月にお話をしましたアフリカ柔道選手権にコーチとして10日間滞在しました。

場所はポルトガルの影響を受けるモザンビーク共和国。

今回は私の活動報告もかねモザンビークの事も紹介していきます。

4月13日、南アフリカ経由でモザンビークへ



3月から4月の半ばまで柔道代表チームと共に稽古を積んできました。年に一度の大事な試合。コーチ、選手共にこの大会に懸けてトレーニングを積んできました。アフリカ22カ国が参加してガボンは男子8名、女子6名で挑みました。

私はガボン柔道連盟会長、副会長と共に先に現地入りしました。

気候が涼しく、アフリカの蒸し暑さから開放され気分も一新。

滞在期間10日間、モザンビークの首都マプト市の事も加えて紹介いたします。

4月14日、モザンビーク共和国、首都マプト市到着



副会長のマンジョンベ氏もご機嫌です!

空港に降りた時から快適な気候に「本当に同じアフリカなのか」という好印象

国が違えば通貨も違う、言葉も違う文化も違う。同じアフリカでもここはポルトガルの影響を受けています。トゥクトゥクも(三輪タクシー)見かけました。時間があったので副会長と共にトゥクトゥクで観光。

4月15~17日、首都マプト市観光



協力隊員は任国で2年間活動に励むわけですが、国外へ行く事もできます。回数、行ける国は限られていますが他国へ赴くのも良い気分転換になります。今回はモザンビーク協力隊員の皆さんにお世話になりました。街を案内してくれたり、お互いの活動について話をしたりと楽しい時間を過ごす事ができました。
 (一番の質問はガボンはどこにあるの?というものでしたが・・・)
 食べ物や料理の種類など、マプト市はガボンより豊富です。おかげ様で体重も増えました↑

←駅前の銅像で

夕暮れの街並み。



屋台でベトナム料理も発見、安い!旨い!



4月18~20日 アフリカ柔道選手権大会

階級は男女8階級に分かれます。アフリカ各国による年に一度の国際大会。個人戦と国対抗の団体戦、形の大会と3日間に渡り開催されました。

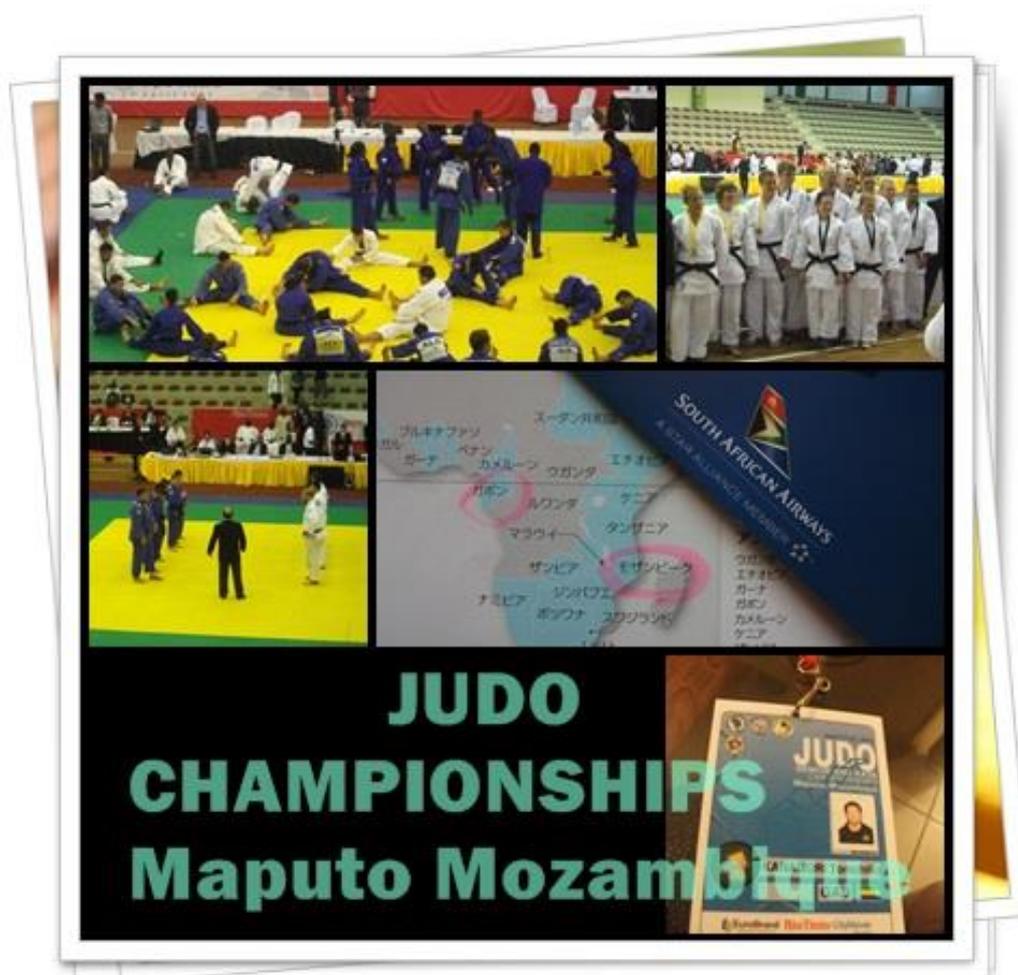
無差別(男子)	無差別(女子)
+100kg	+78kg
-100kg	-78kg
-90kg	-70kg
-81kg	-63kg
-73kg	-57kg
-66kg	-52kg
-60kg	-48kg

初日は重量級から始まり、男子は - 81kg、女子は - 63kg まで。2日目は残った階級と無差別。3日目は国別団体戦と形の大会。近年柔道のルールが改正され、自分にとって初の国際試合の観戦。審判の判定などにも注目しました。各国のウォーミングアップの方法が様々で印象深かったです。

4月23日、ガボン到着 ～大会を終えて～

さて結果ですが、ガボンは女子 - 78kg の選手が準優勝しました。個人戦、団体戦ともあとには入賞なし。収穫はアフリカ各国のパワーバランスが見えた事とガボン選手のこれからの課題。そして改正後の柔道ルールの再確認といった所でしょうか。活動一年目の節目として良い経験ができたと思います。

アフリカの4強が、チュニジア、アルジェリア、モロッコ、エジプト。そのあとをカメルーン、セネガル、南アフリカが追う展開。これらの国に勝つ事が出来ればガボンにも入賞のチャンスが見えてくると分かりました。



10日間のモザンビーク滞在、柔道はもちろんですがこの国に来てみて新たな発見やこちらの隊員と話が出来て非常に有意義な時間が過ごせました。一言でアフリカと言っても気候も人柄も違うんだなと改めて思いました。

こうした時間を過ごせる隊員の時間。2年という期間では何が出来るか悩む所ですが、しかし一番の財産はこういった経験が積める事だと思います。

私の残り任期は1年と2ヶ月。休みつつも、突っ走ります。(^^)

それでは、Bonne journee! (ボンジュールネ 良い一日を)

2013年5月7日